

ふくいのかい生活協同

福井県生活協同組合連合会

〒910-8557 福井市開発町第2号1番1 (県民生協本部センター内)
TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2011年10月31日 No.93

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検索

第15回

海岸 COAST クリーンアップ CLEANING



9月3日に予定された鷹巣会場での海岸クリーンアップは大型台風接近により、前日朝に中止を決めました。前日に中止を決定したのは初めてのことでしたが、申し込み者への中止連絡はスムーズにできました。

翌週の9月10日は、鷹巣会場からの会場変更で参加された方を含め172名で三国サンセットビーチを清掃しました。第15回となる節目の年として、記念企画として重油流出事故のお話と映像、および国際森林年記念として福井県森林組合連合会との共催で雄島での自然散策会も実施しました。強風の翌週でもあり例年よりゴミが多く、海岸清掃のゴミ収集状況は可燃物ゴミ20袋・不燃物5袋が収集できました。

地元のボランティアさんから「15年前に生協さんが海岸清掃を始められて、毎年していただいて。その後ですよ、他の企業や団体さんも、海岸清掃に来てくださるようになりました。」と言われ、継続して取り組むことの大切さを再認識しました。



福井県県民安全課との 懇談会開催



<主な検査事項について>

- ・役員の就任関係について
- ・組合員の加入承認
- ・総代会の開催手続き、理事会の開催状況や議事録等
- ・監事監査の実施状況や報告書
- ・変更登記関係など
- ・会計士による会計

<近年の検査時に指摘をした事項>

- ・総代会の招集通知の際に役員選任議案の総代への送付がされていない
- ・理事会や総代会の議事録が適切に整備されていない
- ・総代会議決の意思表示がされていない議決書を有効な議決として数えている
- ・一般利用が法の規定による組合員利用分量の20%を超えていた

日 時 2011年8月5日(金) 10:30~12:00

会 場 福井県民生協 宝永きらめき 2階会議室

生協の担当課である福井県県民安全課との懇談会を毎年1回開催しています。

今回は地方消費者行政や災害時の生協の役割を主なテーマに、伊勢信三課長と福岡朋子主事を迎えて懇談しました。会員生協からは各生協の事業・活動説明や東日本大震災および2004年の福井豪雨時の支援活動の報告も行い、生協への理解を深めていただきました。

また、近年の指導検査において指摘があった事項等について福岡主事から説明があり、十分な注意を促されました。

11/15から

2/15の3ヶ月間

「生協ボランティア月間」が始まります。

福井県内生協のボランティア活動の一環として「生協ボランティア月間」に取り組みます。各会員生協の事業所に回収箱を設置し、古切手・書き損じ葉書・外国コイン・ベルマーク・ロータスクーポンを集めますのでご協力をお願いします。

集まった収集物は、福井県ボランティアセンター(事務局・福井県社会福祉協議会)等を通じて、収集ボランティア団体からコレクターに売られ、お金に換わります。売上金が福祉活動に活用されます。



国際協同組合年に向けて ～協同組合がよりよい社会を築きます～

第23回 Joint session holding 近畿地区生協・行政 合同会議開催

月 日 8月31日(水)

会 場 大阪市 シティプラザ大阪



近畿地区7府県連(兵庫・大阪・京都・和歌山・奈良・滋賀・福井)で構成している近畿地区生協府県連協議会が、近畿厚生局および各府県行政との懇談会を開催しました。福井県からは、県民安全課の横山主任にご出席いただきました。

「国際協同組合年に向けて～協同組合がよりよい社会を築きます～」をテーマに、賀川記念館 館長の賀川督明さんから「賀川豊彦と国際協同組合年」と題してお話をいただき、また行政・生協からの取り組み事例のひとつとして、福井県民生協の竹生理事長が「福井県民生協の生活支援事業の取り組み～行政と連携した移動店舗事業を中心として～」を報告されました。

生協災害ボランティア バスを運行しました

東日本大震災被災地支援として、福井県民生協と共同で生協災害ボランティアバスを運行しました。会員生協職員9名が参加し、現地(岩手県陸前高田市)では福井県が派遣したボランティアと合流して「チームふくい」として、田んぼのがれき撤去や除草作業に汗を流しました。

8月19日金 夜 出発 ～
8月22日月 早朝 帰福

参加者の感想

延々と続くがれきの山に声が出ない、悲惨な状況でした。それでも自分ひとりの力が、小さな力ですけど、その積み重ねが大きな力になるんじゃないかと思ひながら、一生懸命作業させてもらいました。

作業終了の最後の挨拶で「チームふくい」のリーダーから「如何に自分が幸せだったか、認識してほしい」と言われた言葉が心に響きました。

がれき撤去作業

平成23年度 福井県総合防災訓練へ参加

日 時 8月28日(日) 8:00～12:00 場 所 若狭町

生協連は他の災害ボランティア団体とともに災害ボランティアセンター設置運営訓練に参加、物資手配を担当しました。あわせて生協連独自の応急生活物資協定生協・業者との緊急電話連絡訓練を実施しました。



弁護士による『くらしの相談会』を開催します!



事前予約による個別面談相談(お一人当たり30分程度)です。
ささいなことでもお気軽にご相談ください。専門家がアドバイスいたします。

日 時 11月26日(土)
10時～16時

場 所 ハーツつるが 組合員集会室(オアシス)
(敦賀市若葉町1丁目1610番地)

相談事例

家族間の問題(相続、親権、後見・高齢者の財産管理、離婚など)、契約トラブル、金銭トラブル、損害賠償請求、借金・多重債務、職場のトラブル(セクハラ、パワハラ、超過労働、賃金不払いなど)、ご近所トラブル(境界線など)、不動産・借地借家などに関するご相談。

お問い合わせ・予約受付電話番号 ☎0776-52-0626 公益社団法人 ふくい・くらしの研究所

【主催】福井県生協連合会、福井県民生協、(公社)ふくい・くらしの研究所 【後援】福井県



建築 無料相談会のご案内

弁護士と建築の専門家が建築に関するさまざまな相談にのります。
契約・瑕疵・欠陥住宅・住まいの不具合など気軽にご相談ください。

日 時 11月19日(土) 午前10時～午後3時

場 所 福井弁護士会会議室
(福井市宝永4-3-1三井生命ビル7階)

相談方法 電話相談(当日相談電話番号 ☎0776-29-7180) および面談相談
電話による予約受付・お問い合わせ(福井弁護士会 ☎0776-23-5255)

※福井県生協連も後援しています。

開催予告

地方消費者グループ・フォーラム in 北陸

～福井県生協連が事例報告します～

消費生活に関する問題に対して認識を深めて課題に取り組むため、北陸3県(福井・石川・富山)の消費者団体・グループが集い、情報交換や意見交換を行う「交流の場」としてのフォーラムが富山市内で、消費者庁および全国消費者団体連絡会の共催により開催されます。

北陸ブロックの実行委員会には福井県から生協連を含めた4つの消費者団体と福井県行政が入っています。福井県からの事例報告として「消費者にとって身近な消費生活相談窓口」としての「くらしの相談会」の取り組みを生協連が報告します。

日 時 2012年2月24日(金)
13:30～16:40

場 所 ボルファートとやま
(富山市奥田新町8番1号)

「ふくいつながりフェスタ」のご案内

生協連が加盟している福井県ボランティアセンターの事務局である福井県社会福祉協議会は、今年で60周年を迎えました(昭和26年創設)。積み重ねた60年目の節目の年を県民一人ひとりがつながり、「福祉のまちづくり」にさらなる一歩を歩みだす出発点にするため、下記のイベントが開かれます。生協連が協力しているエコキャップアートコンテストもあります。ぜひご来場ください。

期 日 11月12日(土)～13日(日)

会 場 福井県産業会館(福井市下六条町103番地)

主な内容

- 1 福井県社会福祉大会
- 2 乙武洋匡氏記念講演会
- 3 ご当地グルメ試食・ご当地特産品即売コーナー
- 4 東日本大震災支援コーナー など
- 5 エコキャップアートコンテスト(11月12日午前中に投票)

詳しくは、☎ 0776-24-2339 FAX 0776-24-8941
福井県社会福祉協議会まで

会員生協の活動報告 & 予定案内

管浜生協

猛暑ではあったけれど…

今夏もダイヤ浜海水浴場に売店を設置し、7/16より約1か月間営業をしました。

売り上げはその夏の天候に大きく左右されるため、暑い夏を期待し準備に汗を流しました。

期待通り例年より梅雨明けも早く猛暑となりましたが、皮肉なもの

であまりの暑さに店内は蒸し暑い状態。冷蔵庫はパンク状態となり、急ぎょ換気扇を取り付けるやら冷蔵庫を扇風機で冷やすやらで思わぬ出費。それに加え、東日本大震災に伴う自粛や福島第一原発事故の風評被害、県道の土砂崩れによる通行止め（後に片側通行）などが影響し、新聞報道によれば管浜ダイヤ浜の海水浴客は20%減（美浜町内15%減）であり、売店の売り上げは昨年比約40%減となってしまいました。

夏は暑かったけれど、ふところは寒い今夏でありました。

県民生協

あなたらしさいつまでも ～毎日の暮らしをお手伝いします～

県民せいきょうでは、「高齢になっても、自分らしく生きがいをもって、安心して生活し続けることができるようにとの想いを込めて、江守きらめきに『サービス付き高齢者向け住宅（賃貸住宅）』を建設し、11月からサービスが始まりました。

サービス付き高齢者向け住宅とは？

一定以上の広さとバリアフリー構造や水洗トイレ・洗面などの設備を備えた、高齢者向けの住宅です。また、介護・看護の専門スタッフが24時間常駐し、日々の安否確認や生活相談などのサービスを行います。

江守きらめきには、2～4階に広さや設備が異なる3タイプの部屋が計55室あります。



江守きらめき
サービス付き
高齢者向け住宅が
オープン！

安心のサポート

建物の入り口にあるフロントでは、来訪者の応対や郵便物の受付、行政手続きや医療機関の取り次ぎなどのお手伝いをします。また、各部屋には緊急呼び出しボタンがあり、すぐにスタッフが駆けつけることができます。

1階のゆったりとしたダイニングでは、生協の食材を使った食事を1日3食365日提供します（有料）。その他、ケアマネジャーやヘルパーが常駐する居宅介護支援センターや介護保険サービス施設の併設、地域医療の往診も受けることができるので、万一介護が必要な状態になっても、安心してお過ごしいただくことができます。

お問い合わせ先

江守きらめき

福井市江守中町第2号12番地

☎ (0776) 35-0660

医療生協

福島被災地支援に全力… 仮設住宅訪問で健康相談活動

9月に福島医療生協・わたり病院へ医療支援に参加した光陽生協病院の天田明子病棟看護師に被災地支援についてインタビューしました。



天田看護師

「仮設住宅にお住まいの方の現状は？」

慢性疾患の内服薬が流され、かかりつけ医とも連絡がつかないため、本人家族からの問診内容により処方せざるを得ない状況が続いています。不測の事態に備えて、自分の病気・服用している薬の名前・効用を覚えておく必要があると実感しました。

また、一人ポツンとしている男性の姿には、原発事故によって生きがいを失ってしまったのではないかと、やるせない気持ちになりました。



仮設住宅での健康相談活動

「町に住まわれている方はどうでしたか？」

子どもたちは放射性物質から身を守るためマスクに長袖・長ズボン姿、外で遊ぶことの制限など大きな負担を強いられています。運動会も校庭が使えないことから中止になったそうです。

また、昨年に比べて県内の自殺者が2割も増えたそうです。放射能による健康被害もありますが、先の見えない不安も原因のひとつとなっているような気がします。

2011年 会員生協総代会議案書 ダイジェスト

第53回 福井県労済生協通常総代会

2011年7月29日（金）13:30～ 福井県国際交流会館

労済生協

「福井労済 第53回通常総代会」および
「全労済福井県本部 第2回代表者会議」開催

7月29日（金）、福井県国際交流会館において、「第53回福井県労働者共済生活協同組合通常総代会」「第2回全労済福井県本部代表者会議」が開催され、すべての議案が承認されました。承認された主な議題は以下のとおりです。



《第53回福井県労働者共済生活協同組合通常総代会》

Ⅰ. 2010年度事業概況

(1) 加入状況	127,449件	403,474口
(2) 給付状況	1,253件	11,080,500円
(3) 出資金状況	(組合員数)	122,316人
	(出資金額)	710,057,200円

《第2回全労済福井県本部代表者会議》

2010年度末給付状況については次のような報告がありました。

● 県本部全体の給付実績では、この一年間で14,348件（前年度比108.67%）、2,218,708,093円（前年度比105.89%）の共済金を支払いました。給付件数および給付金額増加の要因としては、前年度発生しなかった全焼事案が今年度は3件発生したことや、2011年1月の大雪による被災が400件以上発生したことが大きく影響しています。